



「ここに宿るサタン」

～生産性優位の社会を考える～

10年前の平成28年7月26日午前2時頃、神奈川県立津久井やまゆり園において、同園の元職員である植松聖死刑囚が、施設のガラスを割って侵入し、「意思疎通ができない」利用者として刃物で刺し、19人が死亡、27人が負傷（うち3名は職員）しました。当日、津久井やまゆり園には、入所者149名、短期入所者8名、計157名の利用者が在園していました。

この事件は、「意思疎通のできない障害者は生産性がない」存在と考えるその価値観は、私たち一人一人の心の奥底に誰もが持っているものとして、現在もそのことを巡って議論が継続されています。

「確かに彼のやったことは特殊だけど、人間であればおそらく誰もがもっている意識の延長線上に事件がある」という問題意識です。事件後は、SNSなどで彼を称賛するような声もありました。残念ながら「この特殊と思える植松という人間存在は、普通の私たちのところにも宿るサタンだ」ということです。

祖母の手紙

ついこの前、手紙を整理していたら94歳になる祖母の手紙が出てきました。そこには、「一夫さん…今は足腰が立たず、部屋の中を物につかまりようやく歩きます。…どこかでじゃま者は早くうせろと云われているとも思っています。人生とはこのようなものかと思っています。あわれな人の定です。…神さまにそれとなく引き取って下さるように祈っているところです。…」と書かれてありました。幼いころから成人になるまでお世話になった祖母のことを「役に立たない疎ましい」存在などと思ったことはありませんが、自由にならない体を横たえながら、衰えていく自分を生産性のないものとして、憂いている内容でした。

園長も63歳になり年々「集中力」や「持続力」が衰えていることを自覚しています。それに加え、この暑さが加わるとさらに「生産性」が落ちます。私自身も無意識に「何か役に立たねば」という目に見えないプレッシャーが常にあります。

「園長！何もしないでいいので、ただ、居てくださればいいですから」と言われても真に受けるわけにはいきません。

私たちの社会で評価される価値観は「生産性」「効率」「成長」などです。政治家が常に発している言葉です。保育園の生活では、そんな言葉はできません。しかし、小中高と進学していく過程でだんだんと、そのことが求められるようになります。効率のよい学習、

生産性の高い職業、成長の期待される企業などと言う言葉です。

社会の「生産性」を求めるプレッシャーとどう向き合うことができるのでしょうか。選択枝は3つ、1つは、こんな社会から逃げ出す（逃走）です。もう一つは、ヒラメの目のように周りに気を使いながら、同調して、社会の歯車となり忍耐して生きる。そして、最後は、闘争です。社会に蔓延する「生産性」という価値観の呪縛から解放されるために、社会の仕組みや問題点と向き合い、それに対抗しながら、人間らしい生き方を求めていくということです。どれも大変ですが、どれにも乗り切れない人もいます。

それでもなお、「与えられた命に価値があると言い続けることをあきらめないこと」そこに明暗があるように思います。

2026年8月1日

園長 中田一夫

8月の行事予定

11日(火) 山の日 休園

13日(木) } 全園児お弁当日・お茶・カトラリー

14日(金) } ※傷まないように保冷剤・保冷バッグ

15日(土) } などで工夫してご準備ください。

21日(金) 18:00~5 歳児キャンプ説明会

22日(土) 尼崎教会こども食堂「マンナ」

26日(水) 誕生会

27日(木) 避難訓練

☆毎週金曜日は礼拝を守ります。

～おしらせ～

コスモ運動あそび・音楽リズムあそびは、夏期保育協力月でもあり8月はお休みです。

～8月27日(木)口座振替のお知らせ～

保育料(乳児)、延長保育料、主食代(幼児/1,100円)、副食代(幼児/4,950円)、手数料(123円)等を徴収いたします。振替日までに登録口座に資金をご準備ください。

▶実習生さんが来られます。よろしくお願いします◀

8/17(月)～28(金) 梅花女子大学2年生 小寺美綾さん ^{みあや}

8/24(月)～9/5(土) 園田学園大学3年次生 岡田心和さん ^{ここな}

9月の行事予定

10日(木)～11日(金) 5歳児1泊キャンプ

※24時間以内に原則37.5℃以上の発熱(日常から体温が低い場合はそれ以下)があった場合、お休みをお勧めします。

1日の内で朝の体温が一番低いといわれています。前日の夜に発熱していた場合は、朝に熱が下がっていてもまた体温が上がってしまい、結果的に長引いてしまうことがよくあります。

お休みの調整など大変かと思いますが、完全に解熱して体調が戻ってから登園することをお勧めいたします。



8月生まれのおともだち
おめでとう!

ひらこ おとさん 6さい
にしまあさきさん 6さい
ふなこしえいとさん 5さい
おかの けんしさん 2さい

☆夏の豆知識☆

8/11はどうして「山の日」? 2016年に制定された国民の休日。「八」という感じが山に見えること、「11」は木が並んでいるように見えることが理由だそうです。山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝できるといいですね。

「寝る子は育つ!!」って本当?! 睡眠はこどもの健やかな成長と発達に不可欠であり、大人にも疲労回復や免疫力上昇などとても大切なものです。こどもの成長期に必要な睡眠時間は、1～2歳児で11～14時間、3～5歳児で10～13時間とされていますが、朝すっきりと目が覚め、日中の活動が活発に出来ていれば良質な睡眠が取れていると言えます。なかなか寝ないこどもにイライラし、つい「早く寝なさい!」と叱ってしまうことはないでしょうか。こどもが気持ち良く眠りに入ることは、こどもの健康や親のストレスを軽減するためにも大切なことです。コツとしては「寝かしつけのルーティン」を決めておくこと、こどもの「分離不安」を和らげる効果がある『抱っこや子守唄、背中トントンなど』、安心して眠りにつくことのできる『ぬいぐるみ、毛布、絵本、音楽』などの利用も効果的です。「寝る子は育つ」…よく寝る子は日中に記憶した学習や経験を忘れないように脳への定着を高めると考えられています。寝ている間に「成長ホルモン」が分泌されます。よく寝る子はキレない(睡眠不足だとやる気が出なく、キレやすく、注意力や判断力が低下する)とも言われています。こども時間で生活すること、21時には布団に横になることが出来るように生活することをお勧めします!

みなさん、夏の計画はどのようにお考えですか? 私は、毎年、同じ場所にキャンプに行っています。この暑い場所から避難だ!と言わんばかりに、10℃ほど低い山梨県まで。こどもたちは水遊び、宝探し、謎解き探検、虫探しなどじっとして暇はないくらい夢中になって遊んでいます。私のキャンプの醍醐味は「作って食べること」。自然の中で他愛もない話をしながら食べる食事が幸せだな～って思います。朝になると鳥のさえずりが聞こえ、鹿に出会います。富士山が見え偉大さを再確認します。そして、自然の大切さを心から感じます。デジタルデトックス、自然との共存、忘れていた何かを思い出させてくれるキャンプはお薦めですよ。

副園長 鈴木有紀